

第108号



発行：西郷村企画開発課

印刷所：ワタベ印刷所

西郷村の人口及世帯数
(52. 5. 1 現在)

世帯数	2,738(+41)
人口	11,956(+89)
男	5,939(+44)
女	6,017(+45)

昭和52年 5月25日発行



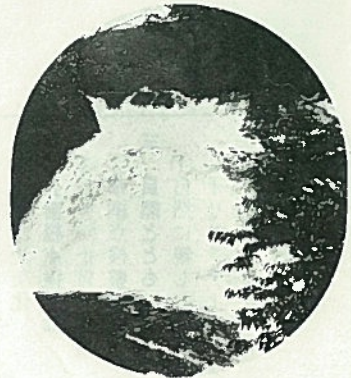
『西乃郷』連絡道路オープン



整備されているキャンプ施設



観光果樹園の1部



数ある滝のうちの1つ
(関係記事は2ページ)

滝あり、岩あり、果樹園ありの変化に富んだコース

キャンプも

楽しめます

——また一つ村の観光名所がお目見え——

五月十四日、快晴の下、県の自然環境保全地域にも指定されている西郷静地内で「西乃郷」連絡道路のオープン式が行なわれました。式には村長、村議会議長をはじめ議員、来賓の方々など約百名が出席しました。

雪割橋側の入口でのテープカットのあと出席者全員が、小鳥がさえずり、新緑が美しい遊歩道を思いくに散策しました。

この道路は山村地域農林漁業特別対策事業により施工され、総事業費は一千九百六十万で西郷静左岸、老人福祉センターを

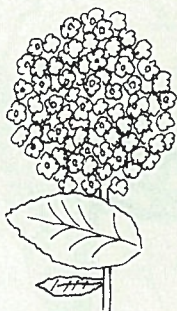
起点とし、雪割橋に至る約三・二キロ、徒歩約二時間のコースです。途中には、起点の第一広場を初めとして、キャンプ場が

二ヶ所、観光果樹園、また、皆さんにまだよく知られていないようですが、黒土川の溪流、特に変化に富んだ数々の滝はすばらしいものがあります。

遊歩道の完成により、春の新緑、秋の紅葉と四季折々の雄大な自然を満喫でき、軽装なスタ

イルで気軽に子供から老人までキャンプやハイキングを通して健康増進にも大いに役立つものと思われず。一方、造成中の観光果樹園によるモモ、リンゴ、クリ等の栽培、附近の生産直売所による高原大根、馬鈴薯、とうもろこし等の新鮮な農産物、牛乳、たまご等の酪農製品、その他、くり、しいたけ、なめこの林産物や高山植物及びその加工品のレジンプラワー等の直売により、地域の農家経営に及ぼす所得増加にも期待がもたれています。

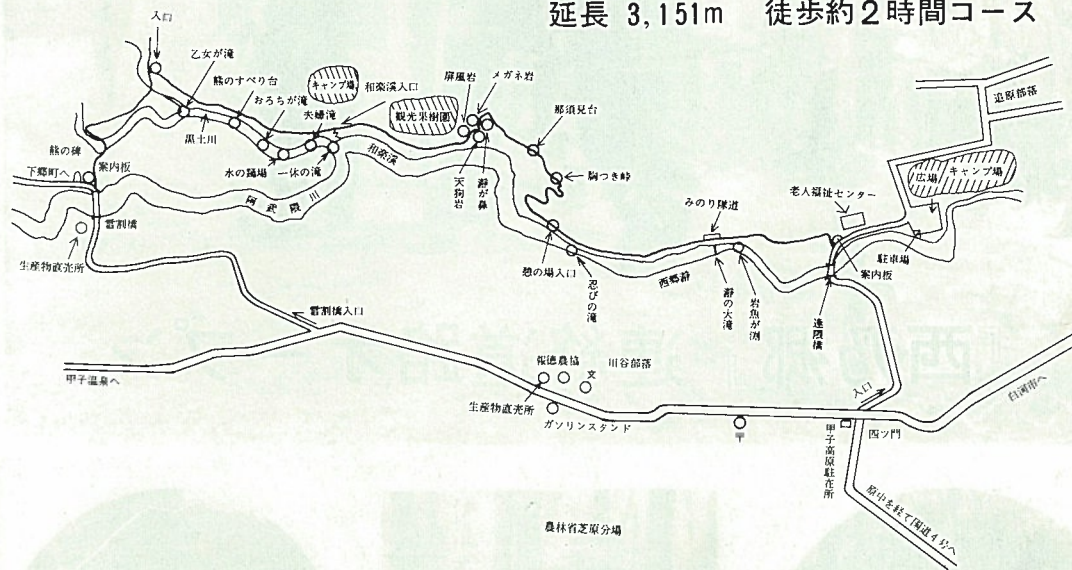
次の歌は途中、野立を催しましたが、その時ある方が詠んだ歌です。



新緑に赤き日傘の彩りて
野立ての風に遠きうぐいす

西乃郷連絡道路案内図

延長 3,151m 徒歩約2時間コース



工場設置届出について

個人、法人に問わず敷地面積一、〇〇〇平方メートル以上の工場（製造業）を設置しようとする時は、着工九十日前までに届出を必要とします。尚届出の窓口は役場企画開発課になっています。

環境週間

6月5日(日)～11日(土)

「テーマ」

よりよい環境を求めて
この機会に次のことを実施してみたいかがでしようか。

一、環境美化

- (1) 河川・湖沼の清掃美化
- (2) 観光地の清掃美化
- (3) 緑化・花いっぱい運動
- (4) 道路環境美化

二、公害総点検運動

- (1) 公害防止自主点検
- (2) 車輛点検整備運動

三、自然とともに

- (1) 自然に親しむ運動
- (2) オリエンテーリング
- (3) サイクリング
- (4) 探鳥会

四、節車運動

国民健康保険が4月中に支払った医療費の状況

区分	件数	支払額	支払額の対前月増減	4月中に納入された国保税
医療費	入院	77 円 6,294,247	+ 円 67,812	
	入院外	2,534 10,431,097	+ 1,231,529	
	歯科	289 1,215,389	+ 152,761	
	計	2,900 17,940,733	+ 1,452,102	
高額療養費	25	570,812	- 405,679	
助産費	7	280,000	+ 80,000	
育児手当金	7	35,000	+ 10,000	
葬祭費	7	35,000	+ 15,000	
合計	2,946	18,861,545	+ 1,151,423	円 1,825,380

老人福祉センターが好評のうちオープンして、一年以上経過し、利用者には大変喜ばれています。まだ、皆様方に活用していただける余裕があります。是非ご利用下さい。

なお、大信村、鮫川村にもありますので、そちらの方もご利用下さい。

◎「ことぶき荘」をご利用の方は、マイクパスにて送迎いたします。

◎「ことぶき荘」をご利用の方は、マイクパスにて送迎いたします。

◎「ことぶき荘」をご利用の方は、マイクパスにて送迎いたします。

お気軽にどうぞ！

「ことぶき荘」西白河郡大信村大字隈戸

☎〇二四八四六(二三五九)
「さざり荘」東白川郡鮫川村
大字赤坂中野
☎〇二四七〇三(二〇五)

老人福祉センター使用の手引

▲申込み方法

使用制限はなく、どなたでも利用することができます。利用予定者は利用予定日の5日前までに下記に申し込んで下さい。

なお、老人福祉センターの公休日は月曜日ですので注意して下さい。

●西郷村役場住民課

(電話 02482 ⑤ 2121内線30番又は西郷有線2101番へ)

●老人福祉センター管理事務所

(電話 西郷有線2660番へ)

▲使用料金

①入所料(部屋を借りて、入浴ならびにその施設を使用する料金)

1人1回につき	老人	一般	子供	他市町村
	100円	300円	200円	400円

②入浴料(入浴のみ)

1人1回のみ(一般外来を含む)	学令前	小学生	中学生	大人
	50円	50円	100円	100円

備考
入浴時間は、午前10時より午後3時までとする。

③会議等使用料

区分	基本料(1回につき)	付加金
	午前8時30分から午後4時40分まで	1月6日3月までの間 11月6日12月まで
集会室	3,000円	基本料の30%増
第1・2娛樂室	1,000円	〃
図書室	300円	〃

備考
・基本料1回は4時間以内とする。
・会議等使用料は入所料を含んでおります。

児童手当現況届

は6月中旬に！

受給者の方は、毎年六月一日から同月二十日までの間に、児童手当現況届を役場住民課に出してください。

この児童手当現況届は、受給者の前年の所得の状況、養育の状況などを毎年六月一日現在について確認するための届です。

もし、この届を出さないと、引き続き受給資格があつても6月分以後の児童手当の支払を受けることができなくなりますから、必ず提出してください。

(役場住民課)

村のおめでたかなしみ

(4月分届出より)

◇おめでた◇

保護者

部落

大場照美 佐藤悠子 力男 武雄
廣瀬 広 吉彦 信夫 谷地中
中村さなえ 信夫 谷地中
大高護 秀夫 赤川
酒井寿枝 孝伊 黒川

◇かなしみ◇

藤井貴之 喜尋 嘉 田土ケ入 真船
力田明美 喜尋 嘉 田土ケ入 真船
渡邊江身子 隆男 谷地中
真船優二 武敏 折口
吉田澄江 宏司 芝原
猪狩雅敏 一弥 上野田
鈴木恭子 茂光 上野田
鈴木久美子 喜信 上野田
郷 吉弘 忠 原中
斎藤誠 紘隆 長坂
鈴木春江 守 川谷
高久りえ 正 山
吉田奈美 壽彦 山下
石塚清香 文彦 下野田

伊藤彦四郎 78歳 原中
松田かん 79歳 原中
菅野リン 39歳 原中
鈴木ミツ 78歳 下野田
鈴木重明 60歳 上野田
根本クニ 93歳 上野田
小磯功多 2歳 上野田
上野信一 3歳 上野田
上野清 7歳 上野田
上野礼子 11歳 上野田
上野清春 12歳 上野田

文化賊だより

上羽太 天道念仏踊 を守る人々

みちのくの関
会津街道上羽太
若竹注連花飾
日天日天神祀る
馳走囲み神酒交し
そろ衣の若者笛太鼓
一つの神事を受継いだ

捧げる真摯な舞い姿
枯渴した
郷土のこころ
息吹き喚ぐ

東京江戸川の風俗研究家鈴木啓之氏が、上羽太の青年たちに



送った詩である。
天道念仏踊は広く東北の村々に伝承されていた民俗芸能のひとつで、部落の交流をかね豊作を願うものであったが、急激な近代化に伴い、ひとつまたひとつと絶えてしまった。
上羽太においても廃絶の危機は幾度も押し寄せたのだが、部落民の必死の努力で今にいたっている。

現在郡内に同様の芸能が残っているのは白河の関辺(さんじもさ)だけである。
この天道念仏は青年を中心として結成された保存会によって保持されている。さなぶりの行事で、五十年までは順めぐりで各戸の庭で行なわれていたのだが、家の改築、新築などで踊りの場の確保が年々むづかしくなってきたため、五十一年からは公民館前の広場で行なわれるようになった。



上羽太天道念仏踊は我が村の唯一誇るべき民俗芸能である。
この価値ある芸能を守る若者たちに温かい拍手をお送りください。
50年5月、上羽太天道念仏踊、県民俗文化財に指定さる。
47年第16回民俗芸能大会に出演(北海道)
48年F T V 出演
50年F C T 出演
51年N H K 出演

川柳俳句

課題「裸」下重秀石選
人 湯気の中知らぬ同志も
友となる キヨ
地 裸一貫故郷を捨てた意
地の汗 六郎
天 どん底の裸になって知る世間 照子
課題「親子」真船昭子選
人 春彼岸親子法衣で駆け

廻り 重丸
父と子の糸をあやつる 妻の知恵
天 基天狗の父の待ったを 子は聞かず 三郎
春眠をさそうて風のごこちよし 後藤 源内
春眠を抜け出て山に会ひ得たり 坂井 周平
春眠や眼疾頓によくなれる 和知 艸央

阿伽桶に浮く花びらも手向けけり 須藤千代子
句の芸は伸びつゝありぬ日の永く 鈴木 簀河
露の苔萌え出て二つ崖の肩 菅野 セイ
あこがれは掴み得ぬものかげろへる 高木 荷香
春眠の孫と人形添寝せり 小針 和英
仰峯の句評を恋ふる春の雨 真船 竜郎

郷土史コーナー
 西郷村史 第19回

(2) 本多下野守の悪政

忠義に替った忠平も又、収奪の限りを尽した。余内金、あるいは過重な労役を課し、それも納められない場合は物納、現金納させるなど、搾取は二重三重に百姓を苦しめた。天和元年「本多能登守苛政上訴状」は忠平の苛政を次のように伝えている。「本田下野守様当秋御所替の時未進万御借金御催促遊ばされ候得共、困窮仕り候百姓の儀故、金子指し上げ申すべき様御座なく候由申し上げ候得ば、名主へは繩を御掛け、組頭へは籠舎、而々女房共の儀は人質に御取り、是も繩まで御掛け置き、其の上百姓をば半死半生の体に御打ちちすえ差られ、青稻を刈り取り差し上げ申す様にと仰せ付けられ候に付き、当作の儀は下総守様へ御年貢差し上げ申し候故、羅り成り間敷き由申し上げ候得ば、御奉行、御代官衆より是非刈り取り、鍋煎に仕候て成るとも上納致し候様にと仰せ付けられ候……」

天和元年七月の時のことであ

(3) 慶安検地時に於ける百姓の持高と生活

この検地は近世を通じて本高として継続し、明治初年の地租改正につながる。この慶安検地の他に享保年間この慶安検地の他に享保年間に検地が行なわれているが、これは再検地と新田検地が大部分であったため、明細帳、あるいは指出帳などには改出として記載されている。さて、慶安検地において、西郷各村の百姓たちはいったいどのような生計の中で暮らしていたのであろうか。

回想録
 陸軍衛生兵の思い出 (19)
 佐藤兵治

暮れも正月もないような年を

越すと、入室患者の数がめつきり少なくなつた。そのことは、少しぐらいの病気を隠しても帰国を急ごうとする傾向が、収容者の間に広がっている噂の裏付けとも取れた。したがって、私たちの仕事も昼間の外来患者を見るのが多くなつた。

黄色の星が数個、大小の順に横に連なつた階級章。それを左胸上部に付けた将校服装の軍属が、診察室にいる軍医にことわりないような格好で、ひよこりと治療室に現われた。

「薬は持つているから、是非、注射だけ頼む……」と哀頼に満ちた小さい声で頭を下げては私たちを見る。

「またも606のお客さま」

私は即断したがO二等兵も同感とみえた。とにかく順番で待つ患者がいることであるし、隣室の私たちの班で待つてもらふことにした。彼はいかにも寂しそうな後姿で廊下へ出ていった。

手透きになってから治療室に来てもらうと、案の定ポケットから包み物を出した。どこから手に入れたものなのか、ドイツのバイエル社製、606（梅毒治療薬の蒸溜水と粉剤のアンブル二本）であった。アンブルの先端をカットし、蒸溜水を先に注射器で吸ってから粉剤のアンブルに射出し、それを繰り返す

調合をやっていると、透きとおつた黄金色のアンブルに見えてくる。醜い病の血液に混ぜてしまふのが惜しいような、あどけなさを自身の中に感じたりした。一月半ばごろ、退室（退院）して間もない順子ちゃんの父（Iさん）が治療室に来て、乗船者に加えられた話をし、間近に帰れるかも知れないという事で、明晩、差し支えなかつたら、私たちが兵隊三人が是非とも夕食に加わってほしいとの意向なのである。早速、F一等兵は軍医の快諾を得た。

翌日の夜、私たちはいい合わせたように外套（がითう）の襟を立てて、寒月に明るい道をIさんの宿舎へ向かつて歩いた。一室の分宿らしく狭い部屋に住んでいた。Iさん夫妻は挨拶ぬきという、ざつくばらん歓迎振りで鍋物の用意にかかった。順子ちゃん、はしやぎながら、分厚い童話集を持ち出し、入室（入院）中、時おりF一等兵先生に朗読してもらつた続きの部分を「読んで」とせがんでいた。七輪とも大火鉢とも見分けがたいような火器、Iさんの知恵を感じるそれには、煙り抜き石炭の火が赤く青く鍋の底に揺れている。径の大きい平鍋に大きい白菜の輪切りが点々置かれ、

輪切りの間と鍋いっばいに鶏肉が入られ、煮えはじめると、順子ちゃんの母さんは葉葱に似た物をいくらか長く斜に切り、一握りくらいずつぼつぼつ置いて水炊きに彩りをあしらつた。温かい家庭の雰囲気を一層かもすように、水炊きの匂いが広がりはじめた。母さんの調味という「たれ」と生卵を割って二つも入れた井（どんぶり）を渡された私たちは、遠慮なくいただき始める。と、立つたIさんは小棚の物陰から四合瓶ぐらいの飲み物を出した。酒類は禁止されていたが、別れなければならぬ心境を温めたいとの中国酒で、コップに注がれると鼻を衝くような強烈さである。まご

ついでに私を見たIさんは、マツチを掴まんだ両手をコップの上に伸ばして擦った。とたん青い炎がポツと燃えてすぐ消えた。酒精分を弱めたのである。パリケードの透き間から、中商人と物の交換をする話を聞いたことがあつたが、おそらく、Iさんもその手段で新鮮な貯蔵食品まで手に入れて義理を立て、裸同然で郷里の北海道へ帰ると思う。凝縮されたような集団の中には、606に体の細胞蘇生を願う者もおれば、Iさん夫妻のような方もおられた。

(つづく)

税務署だより

あなたの「戻し税」は

今回、昭和五十一年分所得税の特別減税が行われ、次の金額が還付されることになりました。還付される金額は、本人は六千円、控除対象配偶者や扶養親族は一人につき三千円とした計算金額です。ただし、納めた昭和五十一年分の所得税額までとなりません。

還付方法とその手続は次のとおりです。

「サラリーマンの場合」

本年六月一日現在において昨年と同じ会社に勤務しているサラリーマンは、おおよそ、六月一

七月ごろ、賞与や給与を受取るときに、勤務先から還付されま

「事業所得者などの場合」

事業所得者など確定申告をして納税した人は、六月下旬ごろに税務署から還付を受けられる金額をお知らせします。その際同封された還付請求書に、所要の事項を記入して、税務署に返送してください。そうすると、税務所から還付金の支払通知書が送られてきますから、この支払通知書によって郵便局で還付金を受取るようになります。

「その他」

給与の税金を源泉徴収で納め、年末調整を受けているが、今年になって五月末までに退職した人や、昨年中途で退職したなど

のため、給与の税金を源泉徴収されたままで年末調整を受けていない人などは、税務署へ還付請求してください。この場合、昭和五十一年分の確定申告書を提出していない人は、期限後の確定申告をして、特別減税を受けることになっていきます。

「くわしいことは税務署へ」

簡易保険の特別

一時金支払いについて

郵便局ではたたいま、昭和二十四年五月三十一日以前に加入した簡易生命保険契約に対し、保険金に特別一時金を加えて支払っておりますが、未だに受取っていない方がおり処理上困っております。

については、郵便局では住所が

関する提案がなされ、これに伴い名称も「西郷村連合青年会」と改められました。

青年会活動の低迷を脱する

ため、この数年あすなるの公演、青年会新聞の発行とあらゆる努力を続けてきましたが、規則の改正によって新たな飛躍が期待されます。

なお同青年会では、新規加入会員を募集していますので、ぜひこの機会に加入して活動してみませんか。

活動する青年会

○昭和五十一年度

中央役員名簿

- 会長 辺見義男(熊倉)
- 副会長 安達富治(間の原)
- 鈴木喜代次(羽太)
- 安藤 正(川谷)
- 会計

事務局長 森下富夫(公民館)

また同総会では従来の会則が戦後間もなく作成されたままなので、現代の活動とマッチしない部分が多いため、原田和信氏(前会長)より改正に

四月の行事報告

はつきり判るものについては通知をあげておりますが、転居その他の理由で、届かないものもかなりございますので、どちら様も、加入の有無を、もう一度証書や通帳などでお調べいただき、郵便局の窓口まで、お申出下さるようお願いいたします。

TEL 313304

自動車税の納期は

5月31日です

こんには、こちらは白河県税務所でございます。

もう自動車税は納入されましたでしょうか。まだ済んでいない方は納期の「5月31日」までに完納いたしましょう。税額は前年度と同税率です。納付書の右端に付いている「完納証明書」は車検のときに必ず必要になりますから大切に保存しましょう。

また現在所有(使用)していない車の納税通知書が届いた場合は、まだ名義変更など移転、まつ等の登録が済んでおりませんので速やかにその手続きを励行し、若し、何等かの事由で右の登録ができない場合は直ちに当所に申出下さい。

TEL (2) 1551
(白河県税務所自動車税係)

- ① 定例町村会、保母等新採用
- ② 交通安全母の会総会
- ④ 村民総参加交通安全運動開始
- ⑤ 町村長視察研修会、統計調査員協議会総会
- ⑦ 西郷保育所入所式
- ⑨ 矢吹高校第一回入学式、月例出納検査
- ⑫ 行政区長会、消防幹部会
- ⑬ 用水会議
- ⑭ 県簡易水道協議会
- ⑮ 老人学級閉講式
- ⑰ 村議会議員鶴生二ヶ八分収林調査
- ⑳ 西白河酪農組合総会
- ㉒ 消防春季検閲、都市計画地方審議会
- ㉓ 行政問題研究会(合同庁舎)
- ㉔ 農村後継者励ましの集い
- ㉕ 農業会議
- ㉗ 公営住宅管理人打合せ、防火管理者連絡協議会
- ㉘ 西白遺族会総会
- ㉚ 農業委員会

